

(公社)佐用町シルバー人材センター平成 29 年度 事業報告

事業の概要

わが国は、少子高齢化が進行し人口減少が続いています。この状況は、経済や財政・社会保障など各方面に大きな影響を与えています。佐用町においても同様です。佐用町の高齢化率は全国平均を上回り、平成 30 年 3 月末現在の人口は、17,172 人、60 歳以上は、8,111 人となっています。

一方、改正高年齢者雇用安定法等により、企業では定年延長および退職後も引き続き働きたいと希望される方に対しての継続雇用も行っており、継続的に働きたいと希望される方も増加しています。県下の雇用情勢は有効求人倍率の改善が続いている状況であり、景気は回復している基調にありますが、人口減少と高齢化から生産年齢人口の減少対策が急がれています。

このような社会環境において、シルバー人材センターへのニーズは多種多様にわたり、各家庭や各種団体等から大きな期待が寄せられています。同時に、エイジレス社会に向けて、年齢に関係なく経験や能力を活かし働く意欲のある高年齢者が活躍できる場としてのシルバー人材センターへの期待も大きくなっています。

当シルバー人材センターの平成 29 年度就業実績は、地域社会関係各位のご理解と会員の皆様の誠意ある就業の積み重ねにより、当シルバー人材センター発足以来の大きな契約実績となりました。法人設立 20 年を経過した今、更なる地域貢献の充実を目指し、シルバー人材センターの基本理念（自主・自立・共働・共助）およびガイドラインを会員および地域社会により深く広め、会員の増加および多様化するニーズへの対応強化が、シルバー人材センターの将来に向けた重要な課題となっています。

役員・会員ともに、シルバー就業の基本である「安全はすべてに優先する」という認識のもと、地域社会により貢献し期待に応えられるシルバー人材センターを目指した活動を展開いたしました。

I. 就業の開拓、安全就業の取組、会員の増強関係について

1. 公共・民間・上部団体からの情報の収集と提供に努めました。
 - ・ガイドラインの周知に努めました。
 - ・公共、民間事業所、上部団体等との協力・連携を図り、地域に密着した就業に取り組みました。

2. 「安全はすべてに優先する」ことの就業基本を推進しました。
 - ・安全就業推進大会を開催しました。
 - ・安全委員会および各安全委員のパトロールを実施しました。
 - ・刈払機の安全使用講習会と剪定安全作業講習会を開催しました。
 - ・傷害事故 1 件、賠償責任事故 3 件が発生しました。今後も継続して安全就業第一を推し進めます。
3. 就業実績関係について
 - ・就業延人員 18,781 人 ・受注件数 2,024 件
 - ・契約金額 101,311,194 円
4. 派遣事業について
 - ・引き続き拡大に取り組みます。
5. 職業紹介事業について
 - ・相談所を常時開設しました。
 - ・事業実績はありません。
6. 会員の拡大について
 - ・平成 29 年度当初は 201 会員でした。会員増強への取り組みも推し進めましたが退会も多数あり、年度末では 208 会員となりました。
 - ・役員等から個々への声掛けを中心に取り組みました。
7. 就業機会の提供について
 - ・シルバー派遣事業の実施事業所として就業機会の提供に努めました。
 - ・「安全はすべてに優先する」ことを基本とした就業に努めました。

II. 広報関係

1. 会員向け広報誌シルバーだより“いきがい”を年 2 回発行しました。
2. シルバー事業への理解促進および参加、顧客の開拓等に寄与するためにホームページを開設しています。

III. 親睦関係

1. 平成 29 年 11 月に“祖谷のかずら橋と大歩危峡遊覧船の観光”へ 60 名の参加のもと親睦旅行を実施しました。

IV. 特別項目

1. 当シルバー人材センターが、団体表彰として設立 20 年の兵庫県シルバー人材センター協会会長表彰を受賞しました。
2. 永年役員表彰（8 年）1 名、永年会員表彰（20 年）3 名が、兵庫県シルバー人材センター協会会長表彰を受賞しました。

3. 当シルバー人材センター理事長より、永年会員（15年表彰2名、10年表彰4名）表彰を定時総会で行いました。

V. その他

1. ボランティア活動として、公共施設周辺の草刈り・剪定を行いました。